

2022年度（2022年8月1日～2023年7月15日） 事業報告書

（1）2022年度の事業概要

アリスセンターの2022年度(2022.8～2023.7)は、1988年に発足し1998年のNPO法人化を経て、34年間活動してきたアリスセンターの最後の年とします。

NPOという言葉もなく、市民活動に対する認知もまだ低かった1980年代後半から、NPO法人制度が整い、市民活動やNPOが認知されてきた今日に至る30年余の間に、多くの課題に取り組む市民やNPOが増え、NPOと行政や企業の協働・連携という考え方も一般的になりました。市民社会は大きく変化してきたと言えます。

その一方で、私たちの生活する社会には、なかなか解決が難しい問題や新たな問題が噴出しています。こうした社会的課題に対して、市民活動やNPOがどのように立ち向かっていくことができるのか、市民社会の現在と今後に向けて必要なことは何なのか、アリスセンターの経験を伝え、あらためて考える場を、最後の年に開催しました。

具体的には下記のような活動を進めました。

- 1) アリスセンターの解散について
- 2) アリスセンターの経験を現在に生かすシンポジウム
「市民社会に向けた社会実験～アリスセンターの経験をバトンタッチする1日」
- 3) アリスセンター「らびっとにゅうず」の発行
- 4) 市民政策のネットワークづくり(協働で提案やアンケートの実施・提案活動)
- 5) (公財)フードバンクかながわが実施する休眠預金等を活用した事業の事業評価の実施

1. アリスセンターの解散について

（1）基本的考え方

1988年にアリスセンターが発足し、その10年後の1999年にNPO法人化する際に次のミッションを掲げました。「①課題解決を市民自らが担う自治型の地域社会をめざす②市民がまちづくりの主体となるための手法やシステムの開発、社会環境整備に関する提案を行う③地域における市民の活動やまちづくりのための実践・政策提案を支援していく」ということで、これまで34年間活動を続けてきました。

インターネットやSNSといったITが進歩し、だれもが情報発信できる社会環境となり、情報センター機能の必要性が低下するなかでも、市民社会に対する問題提起や自治体への政策提案機能を重視し、NPOの政策提案力の向上をめざしてきました。その活動は、多くの市民活動団体や取組を支え、また、多くの市民活動団体とのネットワーキングの輪を広げ、最盛期には300名を超える会員を抱え、事務所と専従事務局員を持つNPOとして発展してきました

た。

2013年には、発足25周年を迎え、たあと通信「25周年記念特集号」(4分冊)発行や記念フォーラムを開催するなど、節目となる取り組みを行い、従前の理事も含め新体制で再出発しました。

その活動は、依然として懸案となっていたテーマを設定した「アリスサロン」の開催をはじめ、「分断社会を超える」をテーマとした「らびっとにゆうず/頼り合える社会づくり通信」の発行などに取組んできました。2020年には、2度にわたる「新型コロナウイルス緊急事態市民団体アンケート」を実施し、「with/after コロナの中での要支援者及びNPOへの支援に関する提案」をとりまとめ神奈川県内の自治体への提言を行うなど、アリスセンターならではの活動も行ってきました。

しかし、この間、会員数の減少に歯止めをすることはできず、2021年度末で、正会員と準会員をあわせて31名、8団体となり、法人の運営も6人の理事と1名の監事が中心に担い、新しい理事等へのバトンタッチはかなわず、活動の継続、拡充が難しい状況でした。

アリスセンターのミッションである「自治型の地域社会をめざすこと」は、これからも究極的な目標であり続けると確信しています。それに向けた活動は道半ばではありますが、現在の法人の体力では、新しい行動提起や実践の提案を行うことが難しくなっており、NPO法人を解散することを検討する時が来たと考えました。

よって、2022年度内に、アリスセンターの解散に向けた取組を進めてきました。

(2) 解散に向けた取り組み

- 2022年9月30日 解散に向けた事業計画承認
- 2022年10月 らびっとにゆうずで2022年度での解散を周知
- 2022年12月～ 退去に向けた書類整理・荷物整理
- 情報提供団体のリスト作成し、⇒資料郵送中止依頼(2023年1月)
- たーと通信は無償配布(シンポジウムで)
- 報告書(研究所時代から)、出版物
⇒保存資料 中島智人(産業能率大学教授)、吉田忠彦(近畿大学教授)両氏の大学研究室で保管をしてもらう
- 会計書類、契約書⇒川崎理事長宅で保存
- その他書類は、廃棄(個人情報も含む可能性があることから、溶解処分)
- パソコン5台廃棄、データ消去処理(リネット)
- 書棚等の備品類⇒かながわ子どもファンドへ無償譲渡
- 2023年1月8日 インポートマート契約終了合意書提出
⇒2023年4月末 NPOスクエア退去
- 電話解約
- 企業総合保険(火災保険料)解約
- 郵便振替口座解約
- 横浜銀行関内支店口座解約

■横浜銀行本店営業部ネットバンキング解約（7月）

■2023年7月15日 解散総会（2022年度内）

2. アリスセンターシンポジウム

「市民社会に向けた社会実験～アリスセンターの経験をバトンタッチする1日」

(1) 開催趣旨

- ・アリスセンターがNPO法人化する際に掲げてミッションは、「①課題解決を市民自らが担う自治型の地域社会をめざす、②市民がまちづくりの主体となるための手法やシステムの開発、社会環境整備に関する提案を行う、③地域における市民の活動やまちづくりのための実践・政策提案を支援していく。」ということである。
- ・市民を取り巻く社会の側は変化してきたが、新しい市民社会を創造し、市民の主体的活動を支援することの必要性、目的・目標、ミッションは設立当時と変わっていない。時代が異なっても、生活における問題点、解決しなければいけない課題は変わっていない。
- ・アリスセンターを解散する前に、アリスセンターが設立された1980年代後半から、現在に至るまでの市民活動・NPOの変遷やアリスセンターのめざしたものを、発信してきたことを振り返り、伝えつつ、現在の社会における市民活動やNPOの役割を再検討し、市民主体の社会創造への道のりを考える。
- ・アリスセンターを通して、誰もが主体として責任をもって社会に関わり、課題解決に取り組むことができるということを実感してくれた方々も多い。仮説とチャレンジの、母体となるのがアリスセンターだった。
- ・①市民主体で社会をつくる、②社会課題の解決をはかっていくこと、③そのためのネットワークや協働の必要性を、これからの世代にも伝えていきたい。
- ・地域社会に目を向ける人々が増えてきている。まだまだ、個人が抱える課題の解決に力点がおかれているが、確実に地域づくりに貪欲な人が増えてきている。時代の変遷や制度や仕組みづくりを学びたい人への呼びかけ、働きかけをしていきたい。
- ・今日の社会の様々な課題に市民はどう向き合っていくのか、次の世代の新たな活動手法をどう市民主体の社会づくりに生かしていくのかを考える機会としたい。
- ・アリスセンターの取組は、市民運動、市民活動も含めた日本型の市民社会をつくるための社会運動であり社会実験だった。私たちはいまだにこの壮大な実験の途中にある。「市民法人」や「協働」というテーマを個別に議論するにとどめず、日本型の市民社会の社会実験という大きなテーマを議論とする機会とする

(2) 日時：2023年4月22日（土）10時から20時

(3) 会場：川崎市総合自治会館大会議室+Zoomによるオンライン参加

(4) 主催 特定非営利活動法人まちづくり情報センターかながわ

共催 アリスセンターの経験をバトンタッチする1日実行委員会

(5) 実行委員

饗庭伸、内海宏、岡田実、川崎あや、木村純一、佐野充、嶋田繁、菅原敏夫、竹井斎、田代

美香、土屋真美子、中島智人、中村茂、原美紀、藤枝香織、松尾敏行、吉田忠彦、吉田洋子、山田修、イラスト協力：勝野真美

(6) 実行委員会による企画準備、運営

アリスセンターの会員やこれまで NPO 法人の運営に関わっていただいた方々に参加を呼びかけたところ、上記の方々が委員会に参加していただきました。

下記のとおり、準備会も含めて7回にわたる Web 会議を重ねた結果、中身の濃い企画を立案することができました。また、当日の運営にあたっては、実行委員の皆さまにご尽力いただきました。アリスセンターのこれまでの活動を総括する意味でも、有意義な結果となりました。実行委員の皆さまには、お忙しい中にも関わらずご指導いただき、深く感謝申し上げます。

2022年 11月16日(水) 19時から (web会議)	シンポジウム準備会	1) 実行委員会立ち上げ 2) 企画書案の検討(合宿方式の提案)
12月21日(水) (Web会議)	第1回実行委員会	・企画書案の検討
2023年 1月19日(木)	第2回実行委員会 (Zoom会議)	・企画書案の検討(セッション1固まる) *饗庭さんからセッション2進行案
1月27日(金) 19時から	第3セッション打合せ (Zoom会議)	・セッション3の企画内容の検討
2月13日(月)	第3回実行委員会 (Zoom会議)	・企画内容検討決定
3月13日(月) 19時から	第4回実行委員会 (Zoom会議)	・当日進行表作成 ・広報進捗状況確認
4月14日(金) 19時から	第5回実行委員会	・各セッション進捗状況 ・事前準備進捗状況・当日進行表
4月22日(土)	シンポジウム	・参加者134名

(7) アリスセンターの14の提言

本日のシンポジウムでは、アリスセンターの経験に基づいて、以下の「アリスセンターの14の提言」を踏まえて、議論を進めていきたいと思っております。

1. 市民法人の可能性～市民の声を集める装置をつくる

2. 市民メディアをつくる
3. ネットワークが社会を変える
4. 市民シンクタンク～市民の知恵を集める
5. 事務局機能が市民活動を強くする
6. 食えるNPOをめざす
7. 働けるNPOをめざす
8. NPOの政策提案力を高める
9. 行政とのつきあい方、闘い方
10. 市民による市民のための協働をめざす
11. 市民のための支援組織をめざす
12. オルタナティブファンドをつくる
13. 私たちはどのような市民社会をめざすのか
14. 志と経験を継承するために～市民社会を創造し支えるもの

(8) 当日進行

①開会（10:00）

- ・開会 司会：藤枝香織（アリスセンター3代目事務局長）
- ・主催者挨拶 川崎あや（アリスセンター理事長・2代目事務局長）

②セッション1 「なぜ私たちはNPOを求めたのか」（10:05～12:10）

1988年のアリスセンターの発会式で、「市民法人の可能性」をテーマに記念講演をされた播磨靖夫さんの講演と、アリスセンターと1990年代から関わりのあった3団体とアリスセンター初代事務局長に、NPOに求めたものやその後のNPOや社会の変化等について議論しました。

◇進行 佐野充さん（公益社団法人神奈川県地方自治研究センター理事長、アリスセンター法人化前運営委員）

◇基調講演 「小さき声」を集める意味～多様性と包摂性のある社会をめざして～（45分）
播磨靖夫さん（一般財団法人たんぽぽの家 理事長）

◇登壇者

西野博之さん（認定NPO法人フリースペースたまりば理事長）

鷺尾公子さん（認定NPO法人ぐるーぷ藤理事長）

磯ちず子さん（よこはまかわをを考える会）

土屋真美子さん（アリスセンター初代事務局長）

◇タイムテーブル（予定）

- 10:05～10:10 第1セッションの趣旨と進行説明
- 10:10～10:55 基調講演 播磨靖夫さん
- 10:55～11:10 報告 西野博之さん
- 11:10～11:25 報告 鷺尾公子さん
- 11:25～11:40 報告 磯ちず子さん
- 11:40～11:50 コメント 土屋真美子さん

11:50~12:10 参加者を交えて意見交換

③セッション2 (ワークショップ)「市民社会の技術」(13:10~15:30)

「アリスセンターの提言」で目指されたことを具体化するために、これまでの取り組みの中で開発されてきた「アリスセンターの技術」を30の技術にまとめ、参加者の皆さんとともに議論して共有します。アリスセンターだけの技術ではなく、これらの技術を「市民社会の技術」へと展開しました。

◇進行 饗庭伸さん(東京都立大学教授、アリスセンター2代目理事長)

◇コメンテーター

原美紀さん(認定NPO 法人びーのびーの事務局長)

竹井斎さん(認定NPO 法人アクト川崎理事)

◇タイムテーブル(予定)

13:10~13:15 第2セッションの趣旨と進行説明

13:15~13:35 「アリスセンター 30の技術」のレビュー

13:35~13:55 知恵や技術を共有する 第1ターン

認定NPO 法人びーのびーの事務局長 原美紀さんのコメントをもとに

13:55~14:15 知恵や技術を共有する 第2ターン

認定NPO 法人アクト川崎 理事 竹井斎さんのコメントをもとに

14:15~14:35 知恵や技術を共有する 第3ターン

参加者の発言をもとに

14:35~14:55 知恵や技術を共有する 第4ターン

参加者の発言をもとに

14:55~15:15 知恵や技術を共有する 第5ターン

参加者の発言をもとに

15:15~15:30 「これからも使える知恵や技術なのか」の議論

④コーヒブレイク&アリスセンター3代の事務局長ミニ対談(15:30~16:00)

◇歴代事務局長3人によるミニ対談(15:45~)

初代事務局長:土屋真美子さん

2代目事務局長:川崎あやさん

3代目事務局長:藤枝香織さん

⑤セッション3 「私たちの社会はどこに向かうのか?~市民社会の現在とこれから」
(16:00~18:00)

アリスセンターやそこにかかわる人たちが、当時目指していた「市民社会」のあり方についてあらためて明確にし、これから「市民社会」を作っていく人たちとその経験を共有し、日本型市民社会の創造と、その創造のためのしくみを構築するための方策について考え、アリスセンターの経験・知識の継承を試みました。

◇進行 中島智人さん(産業能率大学教授、アリスセンター元理事)

◇登壇者

伊吾田善行さん(認定NPO 法人市民セクターよこはま理事/横浜市市民協働推進セン

ターセンター長)

北川有紀さん (NPO 法人横浜市民アクト/ほどがや市民活動センター (アワーズ) センター長)

高城芳之さん (NPO 法人アクションポート横浜 代表理事)

◇タイムテーブル (予定)

16:00~16:05 セッション1、2の振り返りと、セッション3の趣旨と進行説明

16:05~17:20 登壇者による話題提供とディスカッション (20分×3人+フロアからの追加話題提供)

17:20~17:50 「市民社会を創造し支えるもの」についての会場を交えたフリーディスカッション

⑥懇談会 (18:30~20:00)

軽食をつまみながら、参加者で懇談しました。

⑦閉会 (20:00)

閉会挨拶: アリスセンター理事

⑧資料閲覧コーナー

らびっとにゆうず、たーとる通信、各種報告書などアリスセンターがこれまで発行した資料の展示、配布しました。

(9) 参加者数

134名 (会場81名、オンライン59名) ※重複する方がいます。

(10) ホームページによる結果報告

①開会 <https://youtu.be/kBrHjrTkOs0> (約8分)

②セッション1 「なぜ私たちはNPOを求めたのか」

その1 <https://youtu.be/6Rl2xs9FOsl> (約50分)

その2 <https://youtu.be/52aZAta78IA> (約1時間)

③セッション2 「市民社会の技術」(ワークショップ)

その1 <https://youtu.be/MSqqvBjrGE> (約1時間14分)

その2 <https://youtu.be/JtgeOtGL4V4> (約58分)

④コーヒーブレイク&アリスセンター3代の事務局長ミニ対談

<https://youtu.be/EnaQgg335ZQ> (約15分)

⑤セッション3 「私たちの社会はどこに向かうのか?~市民社会の現在とこれから」

その1 https://youtu.be/NOBSHe2KG_g (約1時間27分)

その2 <https://youtu.be/kgCEtYPzbowM> (約10分)

その3~閉会 <https://youtu.be/S8zIB-FpkrQ> (約31分)

⑥アリスセンターシンポジウム次第

⑦セッション1 基調講演 播磨靖夫さん講演録

⑧セッション2 アリスセンター 14の提言-30の技術

⑨参加者からの感想・メッセージ

3. アリスセンター「らびっとにゅうず」の発行

連続シンポジウムのお知らせなど、情報発信機能を維持しつつ、終刊に向けた準備をしてきました。具体的には、アリスセンター事務所に郵便等で届けられる機関紙誌、告知案内などを恵贈していただいている相手先に、アリスセンターの解散予定をお知らせしました。

- ・2022年2月 アリスセンターシンポジウム 市民社会に向けた社会実験～アリスセンターの経験をバトンタッチする1日のお知らせ
- ・2022年3月 アリスセンターシンポジウムの詳細広報
- ・2022年5月 アリスセンターシンポジウムの結果広報

4. 市民政策のネットワークづくり(協働で提案やアンケートの実施・提案活動)

一昨年度実施した、コロナ禍におけるNPO団体、当事者のアンケート調査の結果を踏まえて、神奈川県内の中間支援組織の関係者が集まって情報交流会を開催しています。アリスセンターは、故鈴木健一さんが呼びかけ人のひとりとなり、ソーシャルコーディネートかながわ等の支援組織と世話人会を立ち上げ理事・監事が参加して活動を開始しています。

交流会では、支援団体を支援するスキルの問題や体制についての問題が話し合われています。アリスセンターが積み重ねてきた民設民営の中間支援組織の強みをいかしつつ、公設民営の支援センターを受託する組織等とも連携し、神奈川における中間支援組織の抱える課題の解決に向けて、2022年度中は、引き続き理事が参加していくこととしていましたが、アリスセンターフォーラムの開催に注力したことから、シンポジウムの機会をとおして、これまで連携してきた団体や個人とのつながりを確認しつつ、アリスセンターが掲げてきた「①課題解決を市民自らが担う自治型の地域社会をめざす②市民がまちづくりの主体となるための手法やシステムの開発、社会環境整備に関する提案を行う③地域における市民の活動やまちづくりのための実践・政策提案を支援していく」というミッションの実現に向けて、神奈川を中心とした市民活動団体のネットワーキングに資する活動を実施しました。

5. 総会・理事会の開催記録

(1) 2022年度定期総会

- ①開催日時 2022年9月28日(水) 午後7時から
- ②開催場所 神奈川県横浜市中区新港2丁目2番1号横浜ワールドポーターズ6F NPO スクエア
- ③審議事項 事業報告、決算承認、事業計画、予算承認及び役員の変更
- ④総社員数 23名
- ⑤出席した社員数 18名(委任状・書面評決によるものを含む)
- ⑥議長選任

定刻に至り司会者は開会を宣言し、本日の社員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨を告げ、議長の選任方法を諮ったところ、満場一致をもって菅原敏夫が議長に選任

された。続いて理事長内海宏から挨拶の後、議案の審議に入った。

⑦議事録署名人の選任に関する事項

議長から、次の者を議事録署名人に選任したい旨を述べ、これを議場に諮ったところ、満場一致をもって次の者が議事録署名人に選任された。

議事録署名人 内海 宏

同 岡田 実

⑧議事の経過の概要及び議決の結果

・第1号議案 2021年度事業報告書(案)の承認

議長は、当期における事業状況を、事業報告により詳細に説明報告し、その承認を求めたところ、満場一致をもって承認可決した。

・第2号議案 2021年度の承認

議長は、当期(における活動計算書の報告及び付属書類により説明報告し、書類(活動計算書及び貸借対照表、財産目録案)を提出、監事による監査報告書を提出してその承認を求めたところ、満場一致をもって承認可決した。

・第3号議案 2022年度事業計画書(案)の承認

議長は、次期における活動計画を説明報告し事業計画を提出して、その承認を求めたところ、満場一致をもって承認可決した。

・第4号議案 2022年度予算(案)の承認

議長は、予算を説明報告し予算を提出して、その承認を求めたところ、満場一致をもって承認可決した。

・第5号議案 役員を選任

議長は、理事全員が令和4年9月30日任期満了につき、役員を選任(2022年10月1日~2024年9月30日)を説明報告し、役員名簿を提出して、議場に諮ったところ、次の者を満場一致をもって承認可決した。被選任者は、いずれもその就任を承諾した。

理事 内海 宏(重任)

理事 石川 あや(川崎 あや)(重任)

理事 岡田 実(重任)

理事 嶋田 繁(新任)

理事 中村 茂(新任)

理事 吉田 洋子(重任)

監事 鈴木 智子(重任)

(2) 理事会の開催

日時	会合・出席者	内容
2022年 8月11日(木) 16時30分から	第1回理事会 (内海、川崎、菅 原、岡田、監事：嶋	1) アリスセンター解散に向けた理事会の見解 2) 9月定期総会に向けての作業工程・役割分担 3) 総会後の事業計画

(Web 会議)	田、鈴木、)	4) 今後の事務作業
9月4日(日) 19時から (Web 会議)	第2回理事会 (内海、川崎、菅原、岡田、監事：嶋田、鈴木)	1) 2022 年度定期総会議案書案の作成 2) 定期総会に向けての作業工程・役割分担 3) 総会後の事業計画 4) 今後の事務作業
9月11日(日) 17時から (Web 会議)	第3回理事会 (内海、川崎、菅原、岡田、監事：嶋田、鈴木)	1) 定期総会に向けての作業工程・役割分担 2) 総会後の事業計画 3) その他
10月1日(土) 16時から 横浜ワールドポーターズ6階NPOスクエア	第4回理事会 (内海、川崎、嶋田、中村、吉田、岡田)	1) 理事長の選任 定款第12条の規定に基づき、全員一致をもって選定された。被選定者は、その就任を承諾した。 理事長 神奈川県藤沢市 石川 あや(川崎 あや)
10月11日(火) 19時から (Web 会議)	第5回理事会 (内海、川崎、嶋田、中村、吉田、岡田、監事：鈴木)	1) アリスセンターの経験を現在に生かす連続シンポジウム企画書案 2) 解散に向けた事務作業
11月6日(日) 19時から (Web 会議)	第6回理事会 (内海、川崎、嶋田、吉田、岡田)	1) アリスセンターの経験をバトンタッチしていくシンポジウム 2) 解散に向けた事務作業 3) その他
11月20日(日) 19時から (Web 会議)	第7回理事会 (内海、川崎、嶋田、中村、吉田、岡田、監事：鈴木)	1) アリスセンターの経験をバトンタッチしていくシンポジウム 2) 解散に向けた事務作業 3) その他
12月25日(日) 10時から (Web 会議)	第8回理事会 (内海、川崎、嶋田、中村、吉田、岡田)	1) アリスセンターの経験をバトンタッチしていくシンポジウム 2) 解散に向けた事務作業 3) その他
2023年 2月3日(金) 19時から	第9回理事会 (川崎、内海、嶋田、中村、吉田、岡田)	1) アリスセンターの経験をバトンタッチしていくシンポジウム(スケジュール案、広報計画案、資金計画案の検討) 2) その他

(Web 会議)	田、監事鈴木)	
3月5日(日) 19時から (Web 会議)	第10回理事会 (川崎、内海、嶋田、中村、吉田、岡田、監事鈴木)	1) アリスセンターの経験をバトンタッチしていくシンポジウム 2) 解散に向けた事務作業 3) その他
5月23日(火) 19時から (Web 会議)	第11回理事会 (川崎、内海、嶋田、中村、吉田、岡田、監事鈴木)	1) アリスセンターの経験をバトンタッチしていくシンポジウム 2) 解散に向けた事務作業 3) 総会に向けた作業 4) 解散手続
6月7日(水) 19時から (Web 会議)	第12回理事会 (川崎、内海、嶋田、中村、吉田、岡田、監事鈴木)	1) 総会に向けた作業 2) 解散手続
7月1日(土) 16時から (Web 会議)	第13回理事会 (川崎、内海、嶋田、中村、吉田、岡田、監事鈴木)	1) 総会に向けた作業 2) 解散手続

6. 会員数について(2023年7月1日現在) ※ ()は昨年度の会員数

●個人会員

・正会員18名(17名) ※準会員14名(14名)

●団体

・正会員6団体(6団体) ※準会員2団体(2団体)